

(資 料 配 付)

作成年月日	平成 29 年 9 月 25 日
作成部局 課室名	産業労働部国際局 国際交流課

金澤副知事の海外出張（ドイツ連邦共和国・フランス共和国）の概要

ドイツ連邦共和国のシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州との友好提携 20 周年にあたり、両県州の友好交流と相互理解を一層促進するため、金澤副知事を代表とする友好代表団が同州を訪問し、州政府との交流協議や共同声明の調印などの周年記念事業を展開した。

また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおけるフランス柔道チームの兵庫県（姫路市）での事前合宿決定を受け、フランス柔道連盟を訪問するとともに、フランススポーツ省を訪問し、さらなるオリンピック・パラリンピック事前合宿誘致や、関西ワールドマスターズゲームズ 2021 の開催周知を依頼した。

さらには、友好県であるノール県の商工会議所代表と交流協議を行うとともに現地ラジオ出演等を通じ、ひょうごゴールデンルートをはじめとする本県の魅力的な観光資源等について情報発信を行った。

記

1. 期 間 平成 29 年 9 月 12 日（火）～9 月 17 日（日）

2. 訪問地

- (1) ドイツ連邦共和国 シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州「以下、「SH 州」と記述」
(キール、リューベック)
- (2) フランス共和国 パリ

3. 主な内容

(1) ドイツ連邦共和国

① 兵庫県、SH 州友好提携 20 周年記念事業

ア ダニエル・ギュンター SH 州首相との交流協議

○日 時：平成 29 年 9 月 13 日（水）16:15～17:00

○場 所：SH 州政府庁舎

○参加者：

(SH 州側)

ギュンター首相、フーバー報道官、パウルス外務局長、シュテフェン経済・雇用・交通・科学技術・観光及び財務局長

(兵庫県側)

金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等

○内 容：

本年 5 月 7 日の選挙結果を受け、6 月 28 日、新首相に選出されたギュンター首相との政権交代後初の両県州の交流協議を実施した。両県州の交流は、党を超え、観光・文化・学術などの分野で継続・強化していくこと等が確認された。

＜ギュンター首相＞

ギュンター首相から、「6月28日、州首相選挙で当選し、その後議会等の調整を経て新首相に選ばれた。井戸知事も7月に再選されたと伺っている。改めてお祝いを述べる」とあいさつがあった。

また、「早い機会に兵庫県を訪問し知事にお会いしたい。ただ、2018年11月以降、2019年10月3日までは、連邦上院の長を兼務するので忙しくなる。10月3日はキールでドイツ統一記念式典が行われる予定。2021年までにはお伺いしたい。経済をはじめ、高校・大学間交流、クルーズなど観光、音楽祭など文化活動、再生可能エネルギーなど両県州の共通課題で今後も交流を促進したい」と述べた。

＜金澤副知事＞

金澤副知事からは、「ギュンター首相のご就任をお祝いする。早い機会でのギュンター首相の来県を期待している」と、早期の来県を要請した。

また、「来年、本県は県政150周年を迎える。この機会に友好姉妹州省等に記念行事等への参加にお声がけさせていただきたい」と伝えた。

さらに、「本日午前は貴州経済技術公社と連携し、ひょうご経済セミナーを実施し、午後は県立国際高等学校と姉妹校であるフンボルト高校及びシスメックス・ヨーロッパを訪問し、両県州の協力関係を改めて確認した。今晚、神戸日独協会とSH州独日協会が交流協定を締結するが、草の根の交流が、両県州の新たな交流の扉を開くものとして大いに歓迎している。今後とも、代表団の相互訪問はもとより、経済、学術、教育、文化、青少年事業、観光など多様な分野で、相互協力をさらに促進し強化したい」と締めくくった。



交流協議を行う金澤副知事とギュンター首相

イ 共同声明調印式・州政府主催歓迎レセプション

○日 時：平成29年9月13日（水）18:30～21:00

○場 所：キールヨットクラブ

○参加者：

（SH州側）

ギュンター首相、アルビッヒ前首相、カールステンセン元首相、ブーシェ SH州経済技術公社理事長、ハベック・ライフサイエンスノルド理事長、フォルベアーフンボルト高校校長、キーフマン独日協会会長（元フンボルト高校校長）、ライナー・キール大学副学長、フーバー報道官、パウルス外務局長、シュテフェン経済・雇用・交通・科学技術・観光及び財務局長 等 約55名

（兵庫県側）

- ・友好代表団：金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 4 名
- ・経済訪問団：安部ひょうご産業活性化C 常務理事、横川国際経済課長等 9 名
- ・神戸日独協会訪問団：柘田神戸日独協会会長 等 2 名
- ・神戸市訪問団：小山神戸市産業振興財団部長、檀特神戸市工業課長 2 名

(その他)

安沢 在ハンブルク総領事、増田 JETRO ベルリン所長

○内 容：

(ア) 共同声明調印式

＜ギュンター首相＞

ギュンター首相は、「今年は、シュトルム（ドイツ文学における詩的リアリズムを代表する作家。代表作は『みずうみ』『白馬の騎手』）生誕200周年であり、両県州友好提携20周年の記念すべき年。兵庫県・SH州はこの20年間、様々な分野で交流を進めたが、大切なのは市民レベルの交流。フンボルト高校と兵庫県立国際高等学校の交流は素晴らしい。キール大学と神戸大学の交流も来週ドイツに学生が来るなど具体的な成果をあげている。両県州は重要なパートナー。連携して協力することが必要。交流協議で、金澤副知事と、観光や再生可能エネルギーでの協力にも合意をした。経済分野では、ライフサイエンス分野での活発な交流が行われている。ヴィッセル神戸にポドルフスキーが加入した。我々も、サッカー分野での交流もあり得る。今後も共通分野での交流を進めたい」と挨拶した。



ギュンター首相挨拶

＜金澤副知事＞

金澤副知事は、「両県州友好提携20周年の記念すべき年にキールを訪問でき、光栄である。覚書を締結した1997年以来、訪問団の相互派遣をはじめ、県立国際高等学校とフンボルト高校の交流、神戸大学とキール大学の学術交流、先端医療振興財団とライフサイエンスノルドの企業・研究機関交流など様々な分野で交流を進めてきた。今までの交流実績を踏まえ、さらなる交流を進めていくことをギュンター首相と合意した。ギュンター首相には、早い時期に、来県いただきたい」と挨拶した。



金澤副知事挨拶

さらに、金澤副知事は、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年、関西ワールドマスターズゲーム、2025年の万博誘致について、来場者に対しPRを行い参加及び協力支援を呼びかけた。

＜共同声明調印＞

金澤副知事の呼びかけに対し、ギュンター首相から、2021年のワールドマスターズゲーム参加に向け、まずはキールマラソンに参加し、備えを万全にしたいとコメントがあり、満場の拍手が起こった。

その後、金澤副知事、ギュンター首相の間で、「ドイツ・SH州と日本・兵庫県の相互協力の強化に向けた友好提携20周年共同声明」（別添に全文写）に調印が行われた。



共同声明に調印し、出席者に披露する副知事と首相

(イ) 神戸日独協会・SH州独日協会協力協定調印式

両県州の協定調印に続いて、神戸日独協会、SH州独日協会の提携調印式が、金澤副知事、ギュンター首相の立会いの下、行われた。

栞田神戸日独協会長とキーフマン SH州独日協会長が署名し、20周年の節目にまた新たな交流の芽が撒かれたことに対し、会場から温かい拍手が湧きおこった。



日独・独日協会協定調印式に立ち会う副知事と首相

② 経済・文化・青少年・観光交流の推進

ア ひょうご経済セミナーの実施

○日 時：平成 29 年 9 月 13 日（水）10:00～11:30

○場 所：SH州経済技術公社本部会議室

○参加者：

（SH州側）

- ・ブーシェSH州経済技術公社理事長、フォン・クノーベルスドルSH州副大臣、ハベック・ライフサイエンスノルド理事長
- ・日本との経済交流・技術交流を検討している企業・機関等 20 社程度

（兵庫県側）

- ・友好代表団 金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 4 名
- ・経済訪問団 安部ひょうご産業活性化センター常務理事、横川国際経済課長 参加企業 等 7 名
- ・JETRO ベルリン 増田所長 等 2 名

○内 容：

＜ブーシェ SH州経済技術公社理事長＞

ブーシェ SH州経済技術公社理事長から、「両県州の交流は阪神・淡路大震災を契機に始まり、20年間、各分野で展開した。

今後も、さらなる交流の絆が強まることを期待し、経済交流の窓口として、同機関が積極的な役割を果たしたい」と、挨拶があった。



SH州経済技術公社ブーシェ理事長挨拶

<金澤副知事>

金澤副知事は、「今般、SH州との20周年を祝うために来訪した。大震災時のSH州の支援に改めて感謝する。今後もますますの交流を深めていきたい」と挨拶を行った。

続いて、「ひょうごの産業を支える基盤～医療産業集積・ものづくり」(別添資料)と題するプレゼンテーションを行った。この中で、神戸医療産業都市構想、大学・ものづくり産業の集積、最先端技術基盤、次世代産業の育成にあわせ、ひょうごゴールデンルートなど本県の魅力を紹介した。



金澤副知事のプレゼンテーション

<安部ひょうご産業活性化センター常務>

安部ひょうご産業活性化センター常務は、同センターの事業概要、特に国際経済交流のワンストップサービス機能を紹介し、参加企業に対して今後の日本進出にかかる際に必要となる情報提供を行った。

<フォン・クノーベルスドル SH州副大臣(経済担当)>

フォン・クノーベルスドル SH州副大臣(経済担当)から、両県州の20年間の交流成果の振り返りが行われ、特に、先端医療振興財団とライフサイエンスノルドの交流など具体的な活動が行われてきたが、ギンター新首相の下、さらなる交流促進を願うとの締めの挨拶があった。

<その他>

増田 JETRO ベルリン所長から、第四次産業革命に関する日独の枠組「ハノーバー宣言」(安倍総理及びメルケル首相の国際情報通信技術見本市「CeBIT2017」(於:ハノーバー)訪問時に調印式を実施)の紹介等があった。

また、日本側参加企業(シスメックス・ヨーロッパ、(株)医科歯科技研、フソー(株)、アサヒ産業(株))が自社紹介を行った。

イ フンボルト高校視察

○日 時：平成29年9月13日(水)13:00～13:40

○場 所：フンボルト高校

○参加者：

(SH州側)

フォルベアー校長、フリヤーン教頭、キーフマン前校長、フンボルト高校の生徒17名(6年生：8名、11年生：9名)

(兵庫側)

- ・友好代表団 金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等4名
- ・神戸日独協会訪問団 柘田 神戸日独協会会長 等2名

○内 容：

1861年に設立された伝統校であり、現在、生徒数630名(26クラス)、教師数50名。県立国際高等学校(前芦屋南高校)との交流は、1998年度から始まり、翌年から、隔年で相互に生徒派遣を行い(既に累計202名の生徒が往来)、2006年には、姉妹校提携の調印も行い交流の絆を確かなものにしていく。

フォルベアー校長から、「日本語クラスはボン先生が18年も担当する人気課外授業。生徒は、来年、来県するのを楽しみに日々勉強に励んでいる」と説明

があった。金澤副知事からは、「両県州では様々な分野の交流が進んでいるが、特に、将来を担う青少年交流を活発に展開される両校の交流は素晴らしい」と謝辞が述べられた。

その後、ボン先生の活気に溢れた模擬授業を参観し、生徒が日本語に吹き替えた環境分野（ビオトープ）に関するドイツ映画「バケツ湖」のさわりを鑑賞した。

最後に、金澤副知事より生徒に対し、兵庫県マスコットキャラクターはばタンや本県の魅力を紹介し、「みなさんが兵庫県にいらっしやるのを楽しみにしています」と締めくくった。



(左) 人気の高いボン先生の日本語クラス

(右) 生徒を前に兵庫の魅力を語る金澤副知事

ウ リューベック市長表敬訪問

○日 時：平成 29 年 9 月 14 日（木）13:30～14:00

○場 所：リューベック市庁舎

○参加者：

（リューベック市側）

ザクセ市長、スワボー市長秘書 等

（兵庫県側）

- ・友好代表団：金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 4 名
- ・経済訪問団：安部ひょうご産業活性化センター常務理事 等 8 名

○内 容：

SH 州から推薦があり、世界遺産に登録されている同市のザクセ市長を訪問し、地域づくり観光振興などの意見交換を行った。

金澤副知事からは、今回 SH 州と友好提携 20 周年を機に訪問した経緯や、本県もひょうごゴールデンルートを創設するなど観光に力を入れていることを紹介した。

ザクセ市長からは、「ハンザ都市リューベックは世界遺産に登録され、トーマスマンの生誕地でもあるなど観光資源が豊富。年間 2 千万人の観光客の 1 割が外国人旅行客である。このうち約 2 %が日本人客であり、午前中もクルーズ船で大阪の客が来訪された。また、リューベックは、医療産業のクラスター形成にも力を入れて取り組んでいる」など、地域振興や観光都市としての魅力づくりについての話があった。



(左) 握手を交すザクセ市長と金澤副知事
 (右) 特産品のマジパン(お菓子)を味見しながら、市長の話に耳を傾ける参加者

エ 安沢総領事等からのブリーフィング

○日 時：平成 29 年 9 月 12 日 (木) 20:30～21:00

○場 所：宿泊ホテル内

○参加者：

(在独日本政府関係者側)

安沢 在ハンブルク総領事、増田 JETRO ベルリン所長

(兵庫県側)

金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 4 名

○内 容：

安沢総領事から、SH 州を中心とするドイツ全般に関わる政治・経済情勢等について、ブリーフィングを実施いただいた。ブリーフィングは、面積・人口・経済状況、対日関係から内政にわたり広範な情報に及んだ。SH 州では、今回の選挙で野党だった CDU (キリスト教民主同盟、政党色：黒) が勝利し、連立交渉の結果、6 月に FDP (自由民主党、政党色：黄) と緑の党 (政党色：緑) との、いわゆる「ジャマイカ (同国の旗の色と政党の色から)」連立政権が成立し、ギンター首相が誕生した。SDP (ドイツ社会民主党) を中心とする前政権でも連立を組んだ緑の党が、政策を超えて CDU と連立を組むのは画期的なことであり、9 月 24 日に控える国政選挙での連立の在り方の試金石になるのではと、ドイツ国民の注目を浴びているとのことであった。

安沢総領事は、兵庫県と SH 州友好提携 20 周年のこの機会に、初めてギンター新首相と会うとのことであり、両県州の交流へのさらなる期待を示すとともに、「16 州の首相は国の大臣より重要視されている国柄なので、一刻も早い時期にギンター首相の来県を実現することは日本国にとっても意義が大きい」とコメントされた。



(左) 安沢総領事 (左から 2 番目) よりブリーフィング
 (右) 安沢総領事が今回の副知事訪問に併せ、自ら作成いただいた資料

オ 企業訪問

(ア) 進出企業訪問（シスメックス・ヨーロッパ）

○日 時：平成 29 年 9 月 13 日（水）14:30～16:00

○場 所：シスメックス・ヨーロッパ・ノイミュンスター工場

○参加者：

（企業側）

クッツナー同工場長、琵琶シニア・エグゼクティブ・オフィサー等

（兵庫県側）

- ・友好代表団：金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 4 名
- ・経済訪問団 安部ひょうご産業活性化センター常務理事、横川国際経済課長
参加企業 等 7 名

○内 容：

シスメックス・ヨーロッパ（シスメックス株（本社：神戸）の 100%出資子会社）の琵琶シニア・エグゼクティブ・オフィサーより、同社の概要説明があった。

同社は、1980 年に設立された欧州、中東、アフリカ地域における、検体検査機器販売・代理店サポート及び検体検査試薬製造・販売業の統括会社であり、従業員数は 406 名。売上高は 64,624 百万円（2017 年 3 月期）となっている。ヘマトロジー試薬、尿検査試薬生産工場であるノイミュンスター工場は、欧州、中東、アフリカ地域の今後需要を見込んで、2015 年 7 月に工場を拡張し、生産能力を従来の 1.5 倍に拡大したと説明を受けた。

その後、クッツナー工場長から、試薬品の製造行程の説明を受けながら、太陽光発電、電気自動車の使用による環境に配慮された工場内を視察した。



工場内の視察にて熱心に耳を傾ける金澤副知事

(イ) 現地グローバル企業訪問（ドレーゲル社）

○日 時：平成 29 年 9 月 14 日（木）9:30～11:00

○場 所：ドレーゲル社

○参加者：

（企業側）

恩田 製造部長 等

（兵庫県側）

- ・友好代表団：金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 4 名
- ・経済訪問団 安部ひょうご産業活性化センター常務理事、横川国際経済課長
参加企業 等 7 名

○内 容：

1889年、リューベックに設立され、世界約190か国で展開するドイツを代表するグローバルな医療機器製造業者。

恩田部長より同社概要などの説明を受けた。

同社は、呼吸を守り・支援する国際的な専門会社。病院、消防、鉱山、ガス・石油工場、化学工場等の分野で展開。特に全身麻酔装置・人工呼吸器・生体情報モニター・保育器等呼吸に関連する病院設備機器のドイツ国内シェアはトップクラス。

さらに、「同社の初製品は、ビールサーバーの減圧弁。泡で蓋がされた美味しいビールが飲めるのは同社の技術あってこそ。感謝して欲しい」と参加者の笑いを誘い、同社を印象づけた。日本では、1984年にドレーゲルジャパンを設立、右肩あがりに成長。説明後、トヨタのかんばん方式を採用した工場内を視察した。



「美味しくビールが飲めるのは我が社あってこそ！」と笑いを誘う恩田部長

(2) フランス共和国

① スポーツ交流推進

ア フランス柔道連盟の訪問

○日 時：平成29年9月15日（金）12:00～14:15

○場 所：パリ柔道連盟本部

○参加者：

（フランス柔道連盟側）

ビヨン フランス柔道連盟副会長、ブオノモ 同連盟技術部長 等

（兵庫県側）

- ・兵庫県：金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等5名
- ・姫路市：スポーツ推進室 本庄主幹 等2名

○内 容：

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるフランス柔道チームの兵庫県（姫路市）での事前合宿決定を受け、金澤副知事から柔道連盟関係者に、感謝の意を表明した。

ビヨン副会長からは、「6つの候補都市から姫路を選んだ理由は、同市は、フランス柔道の普及に大きな足跡を残した川石酒造之助の出身で、県立武道館の設備など受入態勢が充実しているため。今後、県・市とともにオリンピックに向けて準備を進めていくことが嬉しい」と本県・姫路の事前合宿協力に向けた真摯な姿勢に対する謝意が述べられた。

面談の中では、円滑な事前合宿準備を進めるために必要となる両者の合意事項を定めた「協定書」の締結について調整していくことの重要性について認識を共有した。特に時期については、本年12月初めの柔道グランドスラム東京2017への参加に際して仏柔道連盟会長が来日する際に、兵庫県知事・姫路市長の間で締結できるよう、今後、関係者が調整を進めていくことを確認した。また、オリンピック開催時のプレス、家族など選手団以外の宿泊施設の確保など具体的な合宿準備に向けた協議を行った。

併せて、金澤副知事から関西マスターズゲームズを紹介すると、ビヨン副会長より、全会員への周知を協力する旨申し出があった。



(左)始終和やかな雰囲気での協議が進む
(右)協議後は、連盟所有の柔道場を見学。

イ フランススポーツ省訪問

○日 時：平成 29 年 9 月 15 日（金） 11:15～11:45

○場 所：フランススポーツ省

○参加者：

（スポーツ省側）

サノール フランススポーツ省国際大規模スポーツ事業等局長 ほか

（兵庫県側）

金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長等 5 名

○内 容：

＜金澤副知事＞

金澤副知事は、まずリマで行われた IOC 総会で 2024 年オリンピック・パラリンピックがパリで開催されることが決定された祝辞を述べた。

そして、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、貴国選手の日本国内事前合宿の県内実施を誘致している。2 年前、井戸知事からも、カネール都市・青少年・スポーツ大臣に協力要請した。この度、フランス柔道連盟が姫路市で事前合宿をする運びとなり関係者一同大変喜んでいいる。改めて、貴省のご尽力に感謝したい。一方、アーチェリー（香美町）、陸上競技（神戸市）など他競技も誘致しているのので、引き続き、ご支援をお願いしたい。

2021 年は関西ワールドマスターズゲームズも開催予定。多くの方に参加いただけるよう、広報等にご協力願いたい」と協力を要請した。

＜サノール局長＞

サノール局長からは、「今夏、スポーツ分野の日仏交流強化が副大臣間で合意された。これを受け、この秋東京オリンピック会場等視察に大臣が訪日予定であり、地方の視察も可能であれば実施したい。貴県も興味があれば候補に入れる。大臣には各競技の理事がついていくことになるので事前合宿の PR になる。また、関西ワールドマスターズゲームズの広報支援は可能。何でも言ってきてほしい」本県と連携を深めたいとの話があった。

金澤副知事からは、「大臣来県に関し、本県も手を挙げたい」旨を回答した。

今後の連携窓口は、パリ事務所が行うこととなった。



相互協力を約束するサノール局長

② 経済・観光交流の促進

ア 現地メディアを活用した本県 PR の実施（JAPAN FM ラジオ）

○日 時：平成 29 年 9 月 15 日（金）15:15～16:00

○場 所：パリ JAPAN FM ラジオ本社

○参加者：

（ラジオ側）

マリオン編集長、グラレス プロジェクトマネージャー等

（兵庫県側）

金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 5 名

○内 容：

金澤副知事が日本に関心のある人を対象とした FM ラジオに出演し、DJ の以下の質問に答える形で、本県の魅力についてフランスを中心に欧州全域に向けて広く PR した。

- ・本県とフランスとの交流
- ・観光（祭り、ポップカルチャー等）
- ・兵庫県の酒
- ・フランス柔道連盟の東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿決定
- ・関西ワールドマスターズゲームズの開催



本県の魅力を熱く紹介する金澤副知事

イ ノール県商工会議所との面談

○日 時：平成 29 年 9 月 15 日（金）19:00～21:00

○場 所：ES ※宝塚市出身の本城昴稀氏のミシュラン一つ星店。本県産食材の販路拡大のプロモーションに協力いただいている。

○参加者：

（ノール県商工会議所側）

ルフォー ノール県商工会議所国際委員会委員長、ブリダ同課長

（兵庫県側）

金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 5 名

（その他）

羽白クレアパリ所長

○内 容：

金澤副知事から、「昨年 9 月のドゥブレ会頭の来県などノール県との交流は経済を中心に展開してきた。来年度は、節目の 5 年を迎えるので、昨年度の答礼として、本県から経済交流団の派遣を検討したい」と挨拶した。

ルフォー国際委員会委員長等からは、「金澤副知事のノール県来訪を歓迎する。また、より成果が上がるように、例えば、医療・健康、福祉、再生エネルギーなど分野を決めて交流するのも重要である」との提案があった。

これを受け、金澤副知事から、「分野を絞るのも良いと思う。加えて本県は、航空機・宇宙技術などを強化しようとしているので、同分野も候補となりえる。来年度の 5 周年では共同声明を締結することも検討したい」と回答した。

本件は、来年度に向け、パリ事務所を窓口調整を進めることとなった。



(左)固い握手を交わす金澤副知事とルフォー委員長
(右)本城シェフも食材に使った県産品をPR

ウ 県農林水産物等プロモーション視察

○日 時：平成 29 年 9 月 15 日（金）17:30～18:00

○場 所：メゾン・ド・サケ

○参加者：

（メゾン・ド・サケ側説明者）

田中康輔株式会社パソナ農援隊代表取締役

（兵庫県側）

金澤副知事、多治比国際交流課長、萱嶋パリ事務所長 等 5 名

○内 容：

メゾン・ド・サケは県産品の輸出促進のためのプロモーションの受託業者である(株)パソナ農援隊が常設プロモーションショップを構える日本酒の展示・販売施設。ここに県産品展示販売コーナーを設けている。

田中代表取締役からは、「山椒等を中心に、料理店からの引き合いも多い。コウノトリはぐくむ米などで作られた日本酒も、たいへん興味を持たれている」と説明を受けた。



田中(株)パソナ農援隊社長から説明を受ける金澤副知事

4. 渡航日程

日 時	日 程	宿泊地
9月12日(火)	関空発 ハンブルク着(途中フランクフルト乗継) / ハンブルク着 ハンブルク発、キール着 ハンブルク総領事のブリーフィング	キール泊
9月13日(水)	ひょうご経済セミナー、ネットワーク交流会 フンボルト高校訪問 シスメックス・ヨーロッパ・ノイミュンスター工場視察 SH州首相との交流協議 SH州友好提携20周年記念事業(共同声明調印式等) 神戸日独協会・SH州日独協会協力協定調印式	キール泊
9月14日(木)	企業視察(ライフサイエンス関連、ドレーゲル社) リュベック市長表敬訪問 ハンブルク発/パリ着	パリ泊
9月15日(金)	フランススポーツ省訪問 フランス柔道連盟訪問 現地ラジオ番組への出演 兵庫県産農林水産物等のプロモーション視察 ノール県商工会議所等との面談	パリ泊
9月16日(土)	パリ発(途中フランクフルト乗継)	機中泊
9月17日(日)	関空着	

(問い合わせ先)

産業労働部国際局国際交流課交流企画班

TEL: 078-362-3026

[別添資料]

- 1 兵庫県・SH州友好提携20周年共同声明文
- 2 ひょうご経済セミナー/金澤副知事プレゼン資料



ドイツ・シュレスヴィヒ=ホルシュタイン州と日本・兵庫県の
相互協力の強化に向けた
友好提携 20 周年共同声明

シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州と兵庫県の友好提携関係は、20 年間、様々な分野における交流と相互協力を通して強固なものとなってきた。こうした実績を踏まえ、両県州は、以下の基本方針に沿って今後とも相互の協力関係を拡張し、深化させることに合意した。

1. 政治、経済、学術分野の代表者による相互訪問は、今後とも両県州の協力関係において重要な役割を担うものである。
2. 経済、学術、教育、文化、災害対策、青少年事業など多様な分野における人、モノ、及びサービス分野の交流や情報交換を一層拡充することで、両県州の相互協力を更に促進、強化する。
3. 両県州の経済発展を目指し、ビジネス、貿易、投資分野における交流を支援する。特に、企業活動を活性化し、相手地域での市場参入と先端分野における企業や研究機関の相互協力への支援に努める。
4. 教育、文化分野における交流は、将来的にも協力関係を支える重要な柱であり、更に強化する。兵庫県立国際高校とキール市フンボルト高校の姉妹校提携、神戸日独協会とシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州独日協会との交流が模範である。

5. 学術分野の相互協力においては、とりわけ将来の国際交流・取引に結びつく研究分野における協力関係を更に発展させ、強化する。両県州は神戸大学とキールのクリスティアン・アルブレヒト大学の学術交流協定を歓迎する。
6. 観光分野においては、両県州の観光地の魅力を伝え合うために、観光資源に関する相互情報提供等にさらに努める。
7. 地球の温暖化や資源保護などのグローバルな課題の解決に共に貢献するため、再生可能エネルギー分野での協力を努める。

友好協力関係の深化を目的とする当共同声明は、両者によって日本語及びドイツ語版に調印される。

2017年9月13日、キールにて

金澤和夫
兵庫県副知事

金澤和夫


ダニエル・ギュンター
シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州首相



Gemeinsame Erklärung
aus Anlass der 20-jährigen Partnerschaft
zur weiteren Vertiefung der Kooperation zwischen dem
Land Schleswig-Holstein (Deutschland) und der Präfektur Hyogo (Japan)

Die partnerschaftlichen und freundschaftlichen Beziehungen zwischen dem Land Schleswig-Holstein und der Präfektur Hyogo sind in den vergangenen zwanzig Jahren durch einen stetigen Austausch und durch Kooperationen in den verschiedensten Bereichen gefestigt worden. Vor diesem Hintergrund möchten das Land und die Präfektur die Zusammenarbeit auf beiden Seiten nach folgenden Grundsätzen auch in Zukunft weiter ausbauen und vertiefen.

1. Hochrangige gegenseitige Besuche im politischen, wirtschaftlichen und wissenschaftlichen Bereich sollen auch weiterhin wichtiger Bestandteil der Kooperation bleiben.
2. Der Austausch von Personen, Waren, Dienstleistungen und Informationen in den unterschiedlichsten Bereichen wie Wirtschaft, Wissenschaft, Bildung, Kultur und Jugend sowie von Maßnahmen zur Katastrophenabwehr soll zur Förderung des Zusammenwirkens beider Regionen weiter intensiviert werden.
3. Zur wirtschaftlichen Entwicklung der jeweiligen Region soll der Austausch in den Bereichen Wirtschaft, Handel und Investitionen weiter unterstützt werden. Ziel hierbei ist es, die Unternehmensaktivitäten bzw. den Markteintritt von Unternehmen in der jeweils anderen Region sowie die Interaktionen von innovativen Unternehmen und Forschungseinrichtungen zu unterstützen.
4. Die Zusammenarbeit im Bereich Bildung und Kultur soll auch in Zukunft einen wesentlichen Eckpfeiler der Zusammenarbeit darstellen und weiter forciert werden. Der Austausch dient dem Aufbau von gegenseitigen freundschaftlichen

Beziehungen und erfolgt insbesondere über die Sekundarschulen sowie von privaten Organisationen. Positive Beispiele stellen in diesem Zusammenhang insbesondere die Schulpartnerschaft zwischen der Kieler Humboldt-Schule und der Hyogo Prefectural International High School sowie die Zusammenarbeit der Deutsch-Japanischen Gesellschaft Schleswig-Holstein und der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Kobe dar.

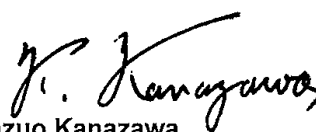
5. Die Kooperation auf akademischer Ebene – insbesondere im Sektor der Forschung zur Gewährleistung zukünftiger internationaler Interaktionen und Transaktionen sowie der Weiterentwicklung der Zusammenarbeit im Bereich der Wissenschaft – soll intensiviert werden. Beide Seiten begrüßen die Hochschulkooperation zwischen der Christian-Albrechts-Universität zu Kiel und der Kobe University.
6. Auch die Zusammenarbeit im Bereich Tourismus soll –einschließlich der Bereitstellung von Informationen über touristische Angebote - erweitert werden. Ziel ist es, die jeweilige Partnerregion als Reiseziel attraktiver zu machen.
7. Um zur Lösung von globalen Herausforderungen wie dem Klima- und Ressourcenschutz gemeinsam beizutragen, wird eine Zusammenarbeit auf dem Gebiet der erneuerbaren Energien angestrebt.

Diese Erklärung zur Vertiefung der freundschaftlichen Kooperation wird von beiden Seiten in einer deutschen und einer japanischen Fassung unterschrieben.

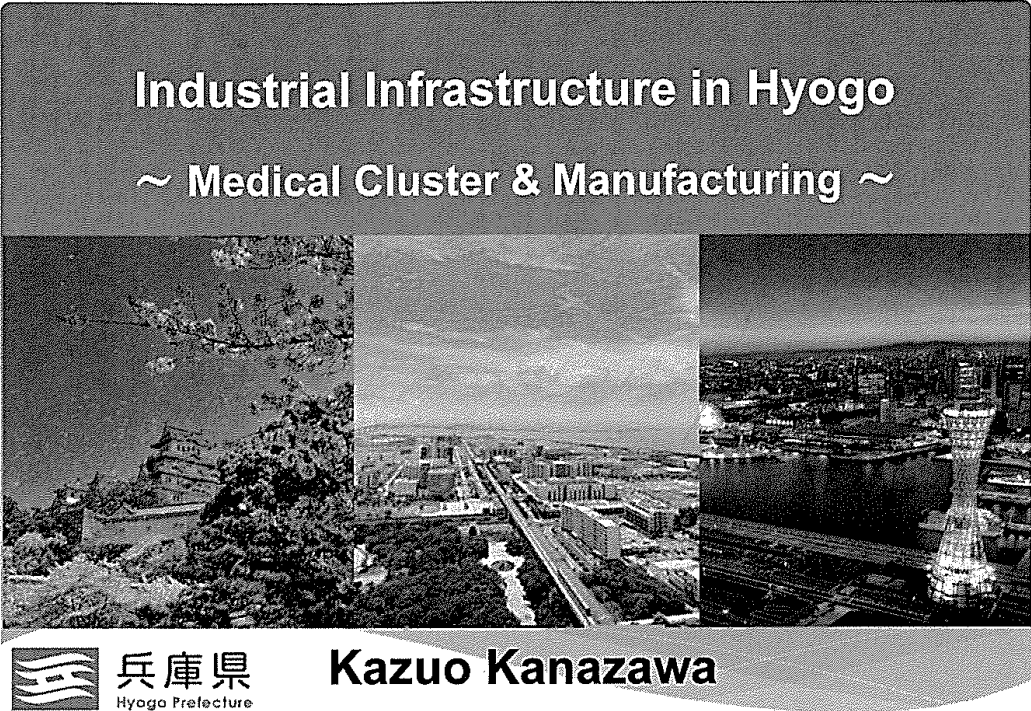
Kiel, 13. September 2017



Daniel Günther
Ministerpräsident
des Landes Schleswig-Holstein



Kazuo Kanazawa
Vizegouverneur
der Präfektur Hyogo



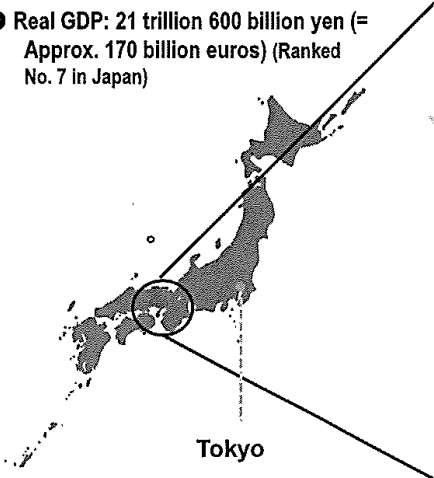
兵庫県
Hyogo Prefecture

Kazuo Kanazawa

Vice Governor of Hyogo Prefecture

Outline of Hyogo Prefecture

- Area: 8,400 km² (Ranked No. 12 in Japan)
- Population: 5.537 million (Ranked No. 7 in Japan)
- Real GDP: 21 trillion 600 billion yen (= Approx. 170 billion euros) (Ranked No. 7 in Japan)



Tokyo



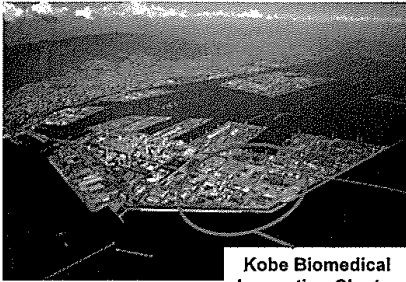
Medical Cluster

~ Kobe Biomedical Innovation Cluster Project ~

■ An integrated hub of life science industries, made possible by industry-academia-government collaboration in the Kansai region

- ◆ Institute of Biomedical Research and Innovation (Kobe City)
- ◆ RIKEN (National Gov.)
- ◆ Translational Research Informatics Center (Kobe City)
- ◆ International Clinical Cancer Research Center (Kobe University)

and many more



Kobe Biomedical Innovation Cluster

Corporate & Academic Research Institutions, etc.

- Boehringer Ingelheim Japan (Germany) - Medicine R&D
- Johnson & Johnson (USA) - Evaluation and improvement of surgical and therapeutic instruments
- Estée Lauder (USA) - Skincare product R&D
- Olympus (Japan) - Medical instruments, regenerative medicine
- Sysmex (Japan) - Development of cancer diagnosis technology
- Kobe University (Japan) - Integrated hub for industry-academia-government collaborative research
- University of Hyogo (Japan) - Graduate School of Applied Informatics, Graduate School of Simulation Studies etc.

338 top-class research organizations and medical related companies (of which 23 are foreign/foreign-affiliated companies) are gathered here [As of the end of July 2017]

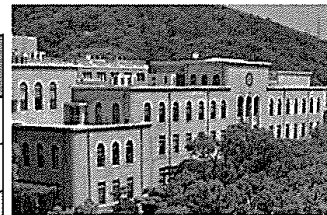
2

Universities Representing Regional Characteristics

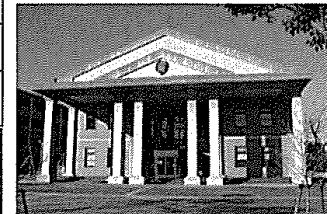
- 37 universities are located in Hyogo, including Kobe University and the University of Hyogo
- Approx. 7,000 foreign students are studying at universities, graduate schools, colleges, technical colleges, etc. in Hyogo

[Universities in Hyogo with 100 or more foreign students]

Name	Under-graduate	Graduate school	Research students	Total
Kobe Univ.	104	800	292	1,196
Kwansei Gakuin Univ.	408	147		555
Univ. of Marketing and Distribution Science	433	34	25	492
Kobe International Univ.	379		105	484
Univ. of Hyogo	46	119	13	178
Kobe Yamate Univ.	134			134



Kobe Univ.



Univ. of Hyogo



Kwansei Gakuin Univ.



Kobe Int'l Univ.

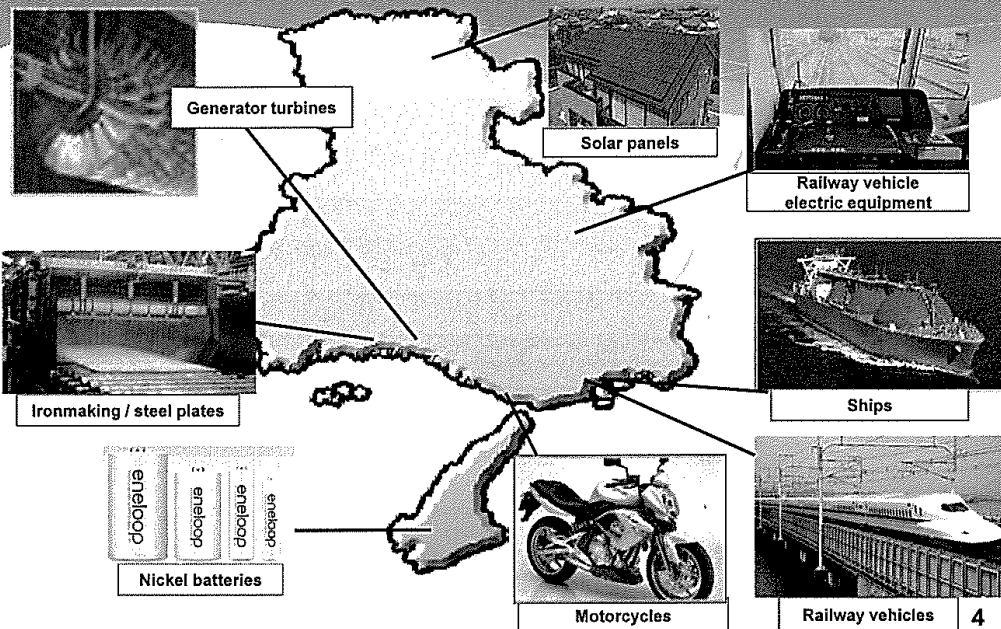


Univ. of Marketing and Distribution Science

3

A Wealth of Manufacturing Industries in Hyogo

Total product shipment value is approx. 120 billion euros;
domestic share of 4.9%
* Census of Manufactures 2014



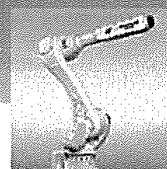
Development of Next-Generation Industries:

Aerospace, robots, new materials, next-generation energy, medical devices, etc.

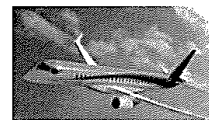
Next-generation industry employment generation project

- Development of next-generation industries, taking advantage of the high-concentration of manufacturing companies in Hyogo

	(2015)	(Goal for 2019)
Aerospace	€ 1.2 bil. →	€ 1.9 bil.
Robots	€ 360 mil. →	€ 490 mil.
Next-gen energy	€ 1.1 bil. →	€ 2.4 bil.
Medical devices	€ 470 mil. →	€ 710 mil.



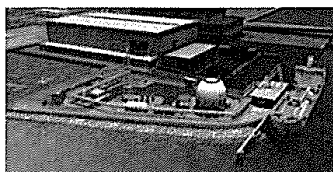
General-purpose robot



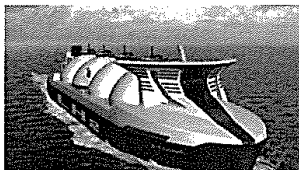
Mitsubishi MRJ

Initiatives to expand hydrogen energy use

- The world's first technical verification project to establish a "hydrogen energy supply chain" (Generate and store liquefied hydrogen, transport it by sea, then unload, transport and use it in Japan)



Hydrogen unloading facility (Conceptual drawing)



Large cargo ship for liquefied hydrogen

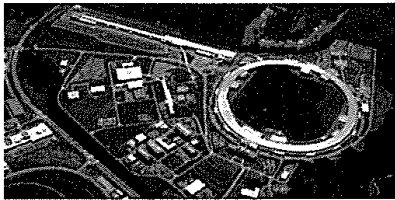
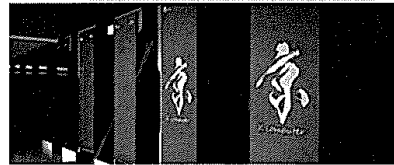
R&D Based on Cutting-edge Technical Infrastructure

Industrial use of cutting-edge technological infrastructure

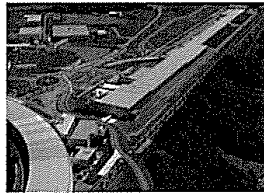
[Hyogo has abundant world-class advanced technological infrastructure]

- (1) K Computer
- (2) SPring-8 (large-scale synchrotron radiation facility)
SACLA (X-ray free electron laser facility)
- (3) E-Defense (3D full-scale earthquake testing facility)

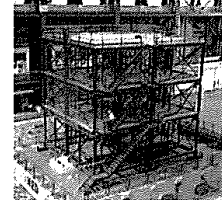
K Computer



SPring-8



SACLA



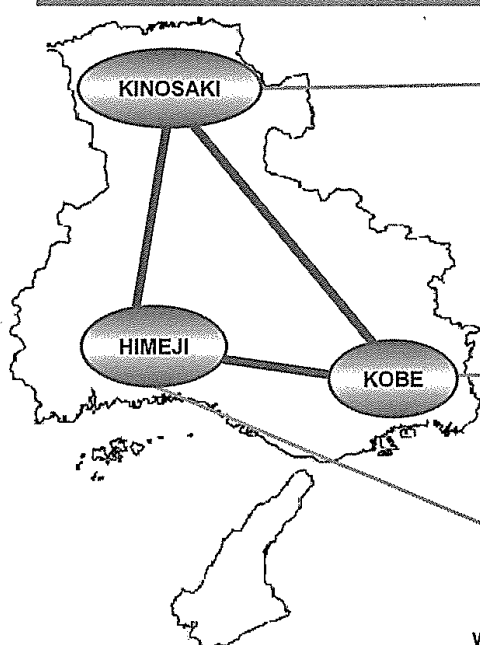
E-Defense

[Development of "post-K"]

- Successor to K Computer

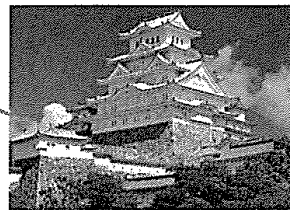
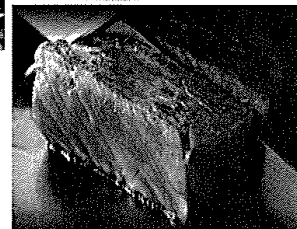
A successor supercomputer to K (maximum 100-fold performance of K) is under development in Kobe. Expected to start operation around 2020.

Hyogo Golden Route



Kinosaki Hot Springs

Kobe Beef



World Heritage Site: Himeji Castle



Port of Kobe

The European Representative Office of Hyogo Prefectural Government
(Contact point of Hyogo in Europe)

Established: Oct. 1993 / Coverage: Europe

Activities

- (1) Promotion of economic, cultural and academic exchange between local governments in Hyogo and Europe
- (2) Support for friendly exchange undertaken by Hyogo Prefecture and municipalities and organizations in Hyogo
- (3) Promotion of the culture of Hyogo and Japan

Contact info

Director General: Kiyoshi Kayashima

Address: 10, rue de Louvois, 75002 Paris

Phone: +33(0)1 42 97 42 82

Website: <http://assoc.wanadoo.fr/hyogo/>

8